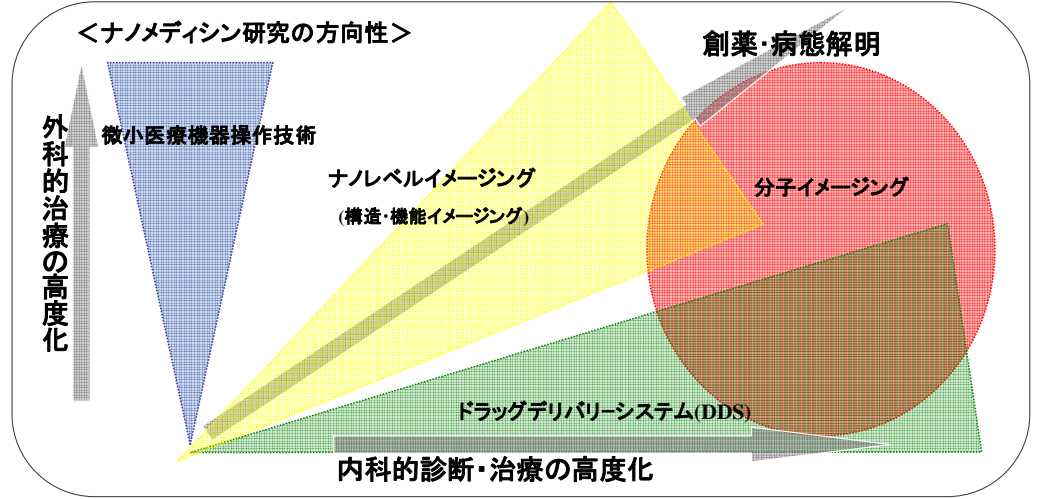


# ナノメディシン

**ナノメディシン**  
 ナノテクノロジーを用いた、より精密な画像診断技術、生体適合性の高い新材料、より有効性・安全性の高い医療機器・医薬品を用いた医療



## ナノメディシン研究 疾患の超早期診断・治療システムの開発 ~分子イメージングの臨床応用に向けて~

**研究事業の特徴** 経済産業省とのマッチングファンドによる実施

- 平成17年度より公募型研究として、がんを対象にフィジビリティー研究を行っている。
- 平成18年度からは研究費を増額し、本分野の重点化をはかる。
  - ・早期の臨床応用を見据えて、継続課題については厳しく評価を行った上で本格研究につなげる。
  - ・新規公募はがん以外の疾患(アルツハイマー等の中枢神経系疾患等)にも対象を拡大し、将来の医療において中心的役割を果たす本技術の広い知見を集積する。

**研究内容と方向性**

画像診断機器の高度化、DDSの成果を、医・薬・工連携(府省連携)によりシステム化し、臨床応用を進める。

(例)

○がんの分子イメージング○  
 がん細胞がわずか数十個の段階で、がんを超早期に発見・診断し、がん細胞特異的に低侵襲な治療を行うシステムの開発

○中枢神経系、心血管系疾患の分子イメージング○  
 アルツハイマー病等の中枢神経系疾患、生活習慣病に伴う心血管系疾患等の病態解明を通じ、予防法・治療法の開発を推進する。

